# JAPAN OPEN ADAPTIVE SURFING CHAMPIONSHIP 2026

協賛のご案内

主催：Japan Open Adaptive Surfing Championship実行委員会

# 海に挑む、すべての人へ。— 誰もが主役になれるスポーツの未来

「JAPAN OPEN ADAPTIVE SURFING CHAMPIONSHIP」は、障がいを持ちながらもそれを超えてサーフィンというスポーツに挑むアスリートたちが、技術と精神を競い合う国内最高峰のアダプティブサーフィン大会です。

舞台は、国内唯一の人工波プール「静波サーフスタジアム “Perfect Swell”」。
選手たちの挑戦は、単なる競技を超えて、スポーツがもつ力、そして「可能性を拓く力」を社会に問いかけます。

## 大会を通じて実現する5つの価値

### ① 障がい者スポーツへの理解促進

アダプティブサーフィンを通じて、障がいのある人々が見せる高い身体能力・精神力を社会に伝え、パラスポーツへの理解と共感を広げます。

### ② 共生社会の実現に向けたメッセージ発信

年齢・性別・障がいの有無を問わず、誰もが活躍できる社会の姿を体現。多様性とインクルージョンの理念を、リアルな体験として発信します。

### ③ 選手の育成と競技力向上支援

国内外のトップ選手にとって、目標となる舞台を提供。技術・精神面の成長を促し、次世代選手の育成や国際大会出場への道を開きます。

### ④ 静波サーフスタジアムの社会的ブランディング

革新的な人工波プールという舞台で開催される本大会は、「スポーツ×テクノロジー×福祉」の融合を象徴し、
施設の先進性と公共性を強く印象づけます。

### ⑤ 地域活性化への貢献

全国から選手・関係者・観客が集うことで、静岡県牧之原市の観光・経済に直接的な波及効果をもたらします。
地元企業との連携や、地域との共創も進めていきます。

# 2. 大会概要と想定スケジュール

## 大会概要

| | |
|---|---|
| 名称 | JAPAN OPEN ADAPTIVE SURFING CHAMPIONSHIP 2026 |
| 会期 | 2026年5月28日(木)～31日(日)※初日セレモニー |
| 会場 | 静波サーフスタジアム “Perfect Swell”(静岡県牧之原市) |
| 参加選手 | 約60名(ISA/AASPルールに準拠) |
| 観客数想定 | 来場者500名・オンライン5,000　延べ5,500名 |
| 主催 | Japan Open Adaptive Surfing Championship実行委員会 |
| 内容 | 各障がい別クラスでの競技＋開会式・交流会・ライブ配信など |
| 配信・撮影 | ドローン、MC、公式ライブヒートあり |

## スケジュールハイライト

| | |
|---|---|
| 2025年9月20日 | スポンサー募集開始 |
| 2026年7月31日 | スポンサー契約締結最終期限 |
| 2025年9月1日 | 広報物制作開始 |
| 2026年5月28日 | クラシフィケーション　※カテゴリ分け身体検査　一部<br>※進行性の場合変わる可能性あるため |
| 2026年5月29日,30日,31日 | 大会開催(初日オープニングセレモニー含む3日間) |
| 2026年6月中 | 大会報告会・スポンサー様向け報告書送付 |

# 社会貢献 × ブランド戦略 × 体験価値

## 1. 企業価値・ブランドイメージの向上

本大会へのご協賛は、単なる広告効果にとどまらず、「共生社会の実現を支える企業」としての信頼構築に直結します。

**・CSRの強化**
障がい者スポーツ支援という社会貢献活動を通じて、企業のCSR・ESG方針を具体的にPRできます。

**・先進性・多様性の共感獲得**
革新的な人工波施設での大会に関わることで、インクルーシブかつ未来志向な企業姿勢を広く印象づけることができます。

**・企業価値の向上**
パラスポーツ支援は、社会的意義の高い取り組みとして、ステークホルダーや社内外からの評価を高める要因となります。

## 2. 高い広報・PR効果

メディアや現地・オンラインを通じて、企業名・ロゴ・製品などを多角的に訴求できます。

**・ニュース・メディアでの露出**
テレビ・新聞・Webニュースなど各種メディアでの大会紹介により、企業名の波及が期待されます。

**・大会公式SNS・Webでの発信**
フォロワー・閲覧者への継続的な発信を通じて、ブランド認知が高まります。

**・会場内での露出**
バナーや看板設置、ブース出展、サンプリングなどによって、来場者に直接アプローチが可能です。

**・関係者・選手との交流機会**
選手やスタッフとの交流は、深く印象に残る「共創体験」となり、社員向けの研修やブランディングにもつながります。

## 3. 多様なターゲット層へのアプローチ

本大会には、多様な背景・価値観を持つ人々が集まります。協賛企業様のメッセージを、広く届けるチャンスです。

- **サーフィン・マリンスポーツファン**
  競技スポーツとしての注目度が高く、アクティブで情報感度の高い層にリーチ可能。
- **ファミリー層**
  障がい者スポーツや地域イベントに関心のある保護者世代を含む来場者へ好印象を残します。
- **多様なコミュニティ**
  障がいのある方、そのご家族、支援者、医療・教育関係者など、共感性の高い幅広い層への波及効果が期待されます。

# 4. スポンサー区分と特典一覧

本大会では、貴社の目的やご予算に応じた複数のスポンサーシッププランをご用意しております。
詳細につきましては、ご要望を伺いながら柔軟にご相談させていただきます。
以下に、主なプランと代表的な特典内容をご紹介いたします。

## プラチナスポンサー ｜ 協賛金額：1，000万円以上

**※プラチナスポンサー1社限定となります。**

主な特典内容：

- 大会冠スポンサー検討（大会名に企業名を冠する可能性）
- 名称使用権（自社HP等で大会名を使用可能／2026年7月1日まで）
- 大会公式HP・SNSでの最上位ロゴ掲載・企業紹介ページ
- ゼッケン（前面・背面）への最上位ロゴ掲載
- 会場内主要箇所にて最大規模の企業ロゴ掲出（バナー、フラッグ、横断幕など）
- 会場での企業PR／ライブ配信中に企業CM配信（選手入れ替え時）
- 開会式・閉会式での企業代表スピーチ
- ブース出展（最優先配置、レイアウト要望対応）
- VIP観戦席（CocoカフェVIPルーム）への優先招待（5名）
- 懇親会・クロージングパーティへの招待（5名）
- ポスター・パンフレット等への最大ロゴ表示
- 選手との交流会参加権（検討）
- 選手の企業訪問・講演実施（希望時）
- JAST選手個人SNSでのPR投稿対応
- プレスリリースへの企業ロゴ露出（検討）
- 返礼品セット（Tシャツ、CAP、ポスター）×5セット
- アンケート等の統計データ提供（匿名処理済）

# 4. スポンサー区分と特典一覧

## ゴールドスポンサー ｜協賛金額：300万円以上

主な特典内容：

- 大会公式HP・SNSでの上位掲載／企業紹介ページ
- ポスター・パンフレットへの上位ロゴ掲載
- ゼッケン両肩へのロゴ掲載
- 会場内主要箇所でのロゴ露出（バナー、横断幕等）上位表示
- 会場アナウンスでの企業名紹介
- 開会式・閉会式での企業名紹介
- ライブ配信中の企業CM配信（選手入れ替え時）
- ブース出展（優先スペース確保、レイアウト相談可）
- 懇親会・クロージングパーティへの招待（5名）
- JAST選手個人SNSでの企業PR
- プレスリリースへの企業ロゴ露出（検討）
- 返礼品セット×3セット（Tシャツ、CAP、ポスター）

## シルバースポンサー ｜協賛金額：￥100万円以上

主な特典内容：

- 大会公式HP・SNSでの上位ロゴ掲載／企業紹介ページ
- 会場内ロゴ掲出（バナー・フラッグ・横断幕）上位表示
- 会場アナウンスでの企業名紹介
- ライブ配信での企業名・ロゴ掲載
- ポスター・パンフレットでの企業名掲載（上位表示）
- ブース出展（一般スペース）
- 懇親会・クロージングパーティ招待（3名）
- 返礼品セット×2セット（Tシャツ、、ポスター）

## ブロンズスポンサー ｜協賛金額：50万円以上

主な特典内容：

- 大会公式HP・SNSにて企業紹介／ロゴ掲載
- パンフレット・スポンサーボード・バナーへのロゴ掲載
- ライブ配信での企業名・ロゴ表示
- ブース出展可能（一般スペース）
- 懇親会・クロージングパーティ招待（2名）

# 4. スポンサー区分と特典一覧

## サポータースポンサー ｜協賛金額：10万円以上

主な特典内容：

- スポンサーボード・パンフレット・HPへ企業名／ロゴ掲載
- ポスター

## フレンドスポンサー ｜協賛金額：5万円以上

主な特典内容：

- パンフレット・HP・スポンサーボードへ小サイズで企業名掲載
- ポスター

## ご寄附／物品｜金額：1万円以上～／現物協賛

主な内容：

- ご寄附（1万円～）：大会運営へのご支援金
- 物品協賛（Tシャツ、飲料、景品など）：大会運営に必要な物資のご提供

※協賛内容に応じて、上記スポンサー区分相当の特典をご相談のうえ付与

# 4. スポンサー区分と特典一覧

## スポンサーシップ特典比較表

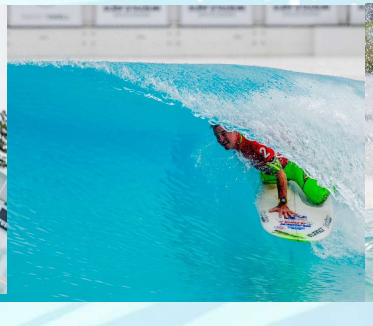
| 特典内容 | プラチナ（1,000万～） | ゴールド（300万～） | シルバー（100万～） | ブロンズ（50万～） | サポーター（10万～） | フレンド（5万～） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 冠スポンサー権 | ✓（検討） | – | – | – | – | – |
| 名称使用権（貴社HP等） | ✓（～7/1） | – | – | – | – | – |
| HP・SNSでの企業紹介 | ✓ 最上位 | ✓ 上位 | ✓ 上位 | ✓ 通常 | ✓ ロゴ掲載 | ✓ 小サイズ掲載 |
| ポスター・パンフレット等への掲載 | ✓ 最上位 | ✓ 上位 | ✓ 上位 | ✓ ロゴ掲載 | ✓ ロゴ掲載 | ✓ 名掲載（小） |
| ゼッケンへのロゴ掲載 | ✓ 前後面 | ✓ 両肩 | – | – | – | – |
| 会場バナー・横断幕等でのロゴ表示 | ✓ 最大サイズ／全会場 | ✓ 上位表示 | ✓ 上位表示 | ✓ ロゴ掲載 | ✓ ロゴ掲載 | ✓ 名掲載 |
| 会場アナウンスでの社名紹介 | ✓ スピーチ可 | ✓ 紹介 | ✓ 紹介 | – | – | – |
| ライブ配信でのCM／ロゴ掲載 | ✓ CM可 | ✓ CM可 | ✓ ロゴ掲載 | ✓ ロゴ掲載 | – | – |
| プレスリリースでのロゴ掲載 | ✓ 検討 | ✓ 検討 | – | – | – | – |
| JAST選手SNSでのPR | ✓ | ✓ | – | – | – | – |
| 選手との交流会参加権 | ✓ 検討 | – | – | – | – | – |
| 日本代表選手の企業訪問講演 | ✓ 希望時 | – | – | – | – | – |
| ブース出展 | ✓ 優先＋レイアウト相談 | ✓ 優先＋相談可 | ✓ 出展可 | ✓ 出展可 | – | – |
| VIP観戦席（CoCoカフェ）ご招待 | ✓ 5名 | – | – | – | – | – |
| 懇親会・クロージングパーティご招待 | ✓ 5名 | ✓ 3名 | ✓ 2名 | – | – | – |
| 返礼品セット（Tシャツ・CAP等） | ✓ 5セット | ✓ 3セット | ✓ 2セット | – | – | – |
| 大会データ（統計・アンケート）提供 | ✓ | – | – | – | – | – |

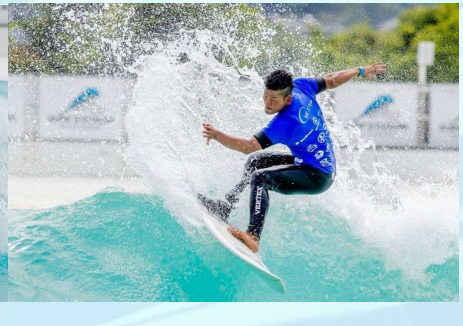
# 大会実績　　会場：静波サーフスタジアム

## 第4回 Japan open 2025

## 第3回 Japan open 2024

## 第2回 Japan open 2023





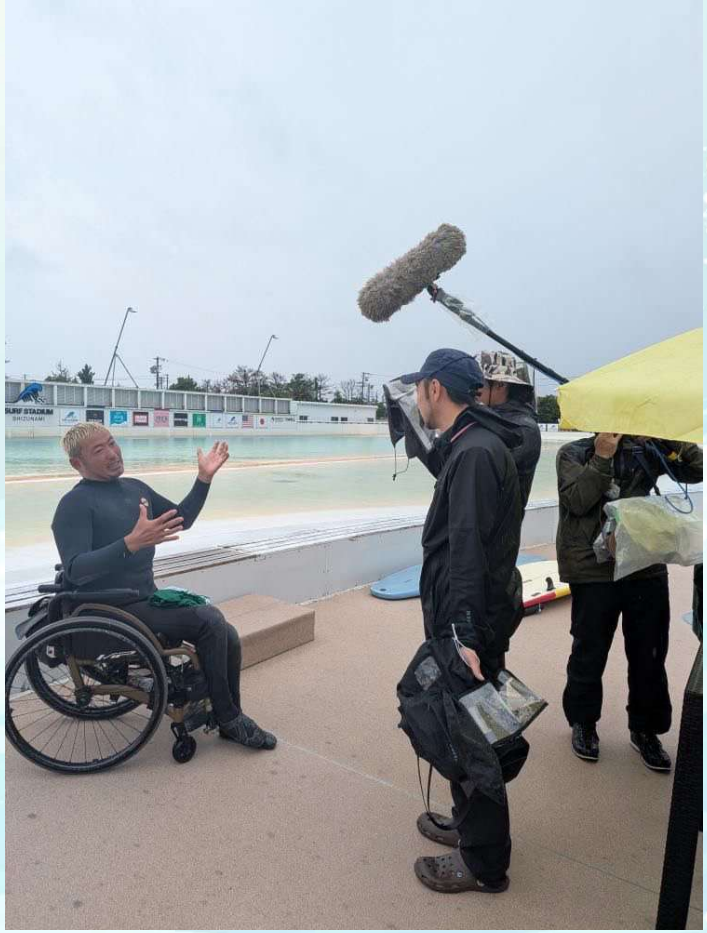
## 第1回 Japan open 2019

※台風の為中止

# メディア取材実績

## 第4回　Japan open2025

小林　征郁　の密着取材として、中京テレビの取材が入りました。



日本代表（愛知在住）：　小林　征郁　選手

オーストラリア代表：　MARK MONO STEWART選手

# 2025年　最新worldツアー実績

## AASP TOUR 第3戦　US OPEN adaptive surfing champion ships 2025

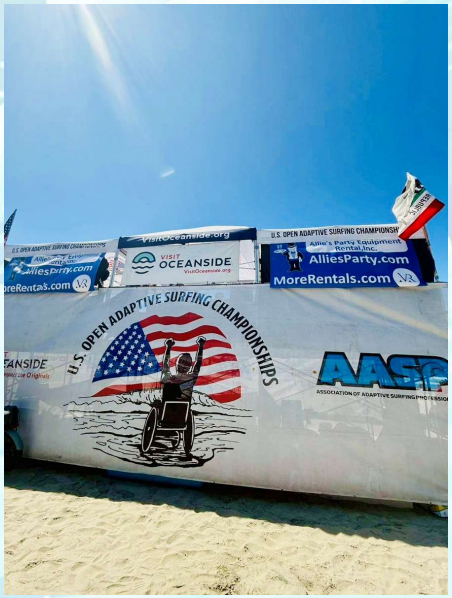
カリフォルニア州オーシャンサイドピアで行われたAASP TOUR 第3戦　US OPEN adaptive surfing champion ships2025が開催され、実行委員会に所属する4名の日本代表選手がツアー参戦しました。

日本代表選手（東京在住）：　KENJIRO ITO

年間タイトル獲得
2025年度　world　Champion

日本代表選手（東京在住）：右　KENJIRO ITO　優勝

日本代表選手（神奈川在住）：左　NAOMICHI KATSUKURA　2位




日本代表選手（愛知在住）：
MASAFUMI KOBAYASHI　4位

日本代表選手（岡山在住）：
TOMOKI FUJIWARA　5位

## 5. おわりに

「JAPAN OPEN ADAPTIVE SURFING CHAMPIONSHIP」は、サーフィンを通じて、障がいの有無を超えて誰もが輝ける場を創出し、
多くの人々に感動と希望を届ける大会です。
この意義ある取り組みをより多くの方に届けるためには、貴社のような先進的な企業のご支援が欠かせません。

本企画書をご覧いただき、もしご関心をお持ちいただけましたら、ぜひ一度、具体的なご協賛内容についてお打ち合わせの機会をいただけますと幸いです。
貴社との素晴らしいご縁を心よりお待ちしております。

主催

Adaptive Surfing Japan Open合同会社

### Japan Open Adaptive実行委員会　組織図

## 企画・運営

Japan Open Adaptive Surfing Championship実行委員会,
LEAM Japan（企画、運営担当団体名、または実行委員会名）

- 実行委員会体制:
- 実行委員長　伊藤　建史郎
- 副実行委員長　小林　征郁／藤原　智貴
- 事務局長　新井　隆司（株式会社フレンテキャリアソリューション）
- 広報担当　吉田　亮（株式会社シースリー・ブレーン）
- WEB担当　吉田　亮（株式会社シースリー・ブレーン）
- 運営担当　JAST
- 渉外担当　新井　隆司
- 財務担当　新井　隆司（株式会社フレンテキャリアソリューション）
- 配信担当　北村　万里子（株式会社LEAM Japan）

各担当は専門性と経験を持つ人材で構成。

＊協力団体: 静波サーフスタジアム、牧之原市観光課、ボランティア団体など。

＊**連絡窓口:**

担当部署名: **Japan Open Adaptive Surfing Championship　実行委員会**
担当者名: 小林 征郁
電話番号:　090-8044-9628
メール　japanopen@adaptivesurfing.jp　※お問い合わせはコチラへ
公式ホームページ　https://adaptivesurfing.jp/　※10月初旬公開予定

公式ホームページ